

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 6 年 6 月 2 8 日			
広島県知事 様			
提出者			
住所 広島県大竹市御幸町 2 0 番 1 号			
氏名 三菱ケミカル株式会社広島事業所 事業所長 清水 和博			
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 (0 8 2 7) 5 2 - 4 2 1 7			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	三菱ケミカル(株)広島事業所（テクノUMG(株)大竹事業所分を含む）		
事業場の所在地	広島県大竹市御幸町 2 0 番 1 号		
事業の種類	1 6 : 化学工業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 6 年 3 月 3 1 日		
産業廃棄物処理計画における目標値 別紙 4 のとおり			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

0

別紙3のとおり

②

自ら直接再生利用した量

③

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

④

自ら中間処理した量

④のうち熱回収を行った量

⑤

⑥

自ら中間処理した後の残さ量

⑦

自ら中間処理により減量した量

⑧

自ら中間処理した後再生利用した量

⑨

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑩

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑪

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑫

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑭

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

(第2面)

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙3-その1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(令和5年度実績)

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生利用した量	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	自ら中間処理した量	④のうち熱回収を行った量	自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理により減量した量	自ら中間処理した後、再生利用した量	自ら中間処理した後、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
燃え殻	5311	0	0	0	0	0	0	0	0	5311	0	5305	0	0
汚泥	7046	0	0	6236	6236	499	5737	499	0	810	0	7	0	0
廃油	1341	0	0	528	528	42	486	42	0	813	0	378	0	0
廃酸	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0
廃アルカリ	296	0	0	0	0	0	0	0	0	296	0	0	0	0
廃プラスチック類	1518	0	0	1082	1082	87	995	87	0	436	0	0	0	0
紙くず	372	0	0	372	372	30	342	30	0	0	0	0	0	0
木くず	180	0	0	0	0	0	0	0	0	180	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	26	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	72	0	0	0	0	0	0	0	0	72	0	0	0	0
鋳さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	14	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	24841	0	0	0	0	0	0	0	0	24841	0	24841	0	0
合計	41029	0	0	8218	8218	658	7560	658	0	32811	0	30545	0	0

別紙3－その2

単位:トン/年

実 績 値									
①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	熱回収認定業者への処理委託量	熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
5311	0	0	0	0	5311	0	5305	0	0
7046	499	6236	5737	0	810	0	7	0	0
1341	42	528	486	0	813	0	378	0	0
11	0	0	0	0	11	0	0	0	0
296	0	0	0	0	296	0	0	0	0
1518	87	1082	995	0	436	0	0	0	0
372	30	372	342	0	0	0	0	0	0
180	0	0	0	0	180	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	0	0	0	0	26	0	0	0	0
72	0	0	0	0	72	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	15	0	14	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24841	0	0	0	0	24841	0	24841	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41029	658	8218	7560	0	32811	0	30545	0	0

別紙4(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和5年度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	52252	①排出量	41029
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1362	②自ら直接再生利用した量	658
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	9672	⑤自ら熱回収を行った量	8218
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8898	⑦自ら中間処理により減量した量	7560
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
全処理委託量	41991	⑩全処理委託量	32811
優良認定処理業者への処理委託量	0	⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
再生利用業者への処理委託量	38157	⑫再生利用業者への処理委託量	30545
熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 6 年 6 月 2 8 日			
広島県知事 様			
提出者			
住所		広島県大竹市御幸町 2 0 番 1 号	
氏名		三菱ケミカル株式会社広島事業所 事業所長 清水 和博	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号		(0 8 2 7) 5 2 - 4 2 1 7	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和 5 年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称		三菱ケミカル(株)広島事業所（テクノUMG(株)大竹事業所分を含む）	
事業場の所在地		広島県大竹市御幸町 2 0 番 1 号	
事業の種類		1 6 : 化学工業	
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間		令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 3 1 日	
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値 別紙 8 のとおり			
項目		目標値	
排出量		t	
自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量		t	
自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量		t	
自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量		t	
自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量		t	
全処理委託量		t	
優良認定処理業者への 処理委託量		t	
再生利用業者への 処理委託量		t	
認定熱回収業者への 処理委託量		t	
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		前々年度 2433 t 前年度 1039 t	
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組)			
・平成31年度より特別管理産業廃棄物を含めた産業廃棄物の全数について電子マニフェストを使用			
※事務処理欄			

計画の実施状況

有償物量

不要物等発生量

排出量

①

自ら直接再生利用した量

②

自ら直接埋立処分した量

③

自ら中間処理した量

④

④のうち熱回収を行った量

⑤

自ら中間処理した後の残さ量

⑥

自ら中間処理により減量した量

⑦

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

別紙7のとおり

項目	実績値
①排出量	0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

別紙7-その1(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書)
(令和5年度実績)

単位:トン/年

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	排出量	自ら直接再生 利用した量	自ら直接埋立 処分した量	自ら中間処理 した量	④のうち熱回 収を行った量	自ら中間処理 した後の残さ 量	自ら中間処理 により減量し た量	自ら中間処理 した後、再生 利用した量	自ら中間処理 した後、自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	直接及び自ら 中間処理した 後の処理委託 量	⑩のうち優良 認定処理業者 への処理委託 量	⑩のうち再生 利用業者への 処理委託量	⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑩のうち熱回 収認定業者以 外の熱回収を 行う業者への 処理委託量
特別管理産業廃棄物の種類														
廃油	633	0	0	609	609	49	560	49	0	24	0	0	0	0
廃酸	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0
廃アルカリ	438	0	0	0	0	0	0	0	0	438	0	0	0	0
感染性産業廃棄物	0.051	0	0	0	0	0	0	0	0	0.051	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃PCB等(特定有害産業廃棄物)	10.011	0	0	0	0	0	0	0	0	10.011	0	0	0	0
PCB汚染物(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PCB処理物(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定下水汚泥(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃石綿等(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃え殻(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃油(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥(特定有害産業廃棄物)	44	0	0	0	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0
廃酸(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ(特定有害産業廃棄物)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1149.062	0	0	609	609	49	560	49	0	540.062	0	0	0	0

別紙7-その2

実 績 値(単位:トン/年)									
①	②+⑧	⑤	⑦	③+⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
排出量	自ら再生利用 を行った量	自ら熱回収を 行った量	自ら中間処理 により減量し た量	自ら埋立処分 又は海洋投入 処分を行った 量	全処理委託量	優良認定処理 業者への処理 委託量	再生利用業者 への処理委託 量	熱回収認定業 者への処理委 託量	熱回収認定業 者以外の熱回 収を行う業者 への処理委託 量
633	49	609	560	0	24	0	0	0	0
24	0	0	0	0	24	0	0	0	0
438	0	0	0	0	438	0	0	0	0
0.051	0	0	0	0	0.051	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10.011	0	0	0	0	10.011	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44	0	0	0	0	44	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1149.062	49	609	560	0	540.062	0	0	0	0

別紙8(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

(令和5年度実績)

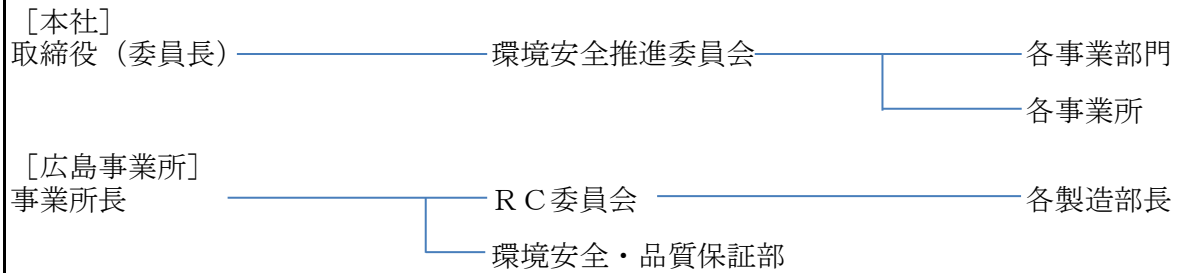
単位:トン/年

目標値(前年度に提出した 特別管理産業廃棄物処理計画の計画値)		実績値	
排出量	2467	①排出量	1149
自ら再生利用を行う特別管理産業 廃棄物の量	55	②+⑧自ら直接再生利用を行った 量	49
自ら熱回収を行う産特別管理業廃 棄物の量	685	⑤自ら熱回収を行った量	609
自ら中間処理により減量する特別 管理産業廃棄物の量	630	⑦自ら中間処理により減量した量	560
自ら埋立処分を行う特別管理産業 廃棄物の量	0	③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0
全処理委託量	1783	⑩全処理委託量	540
優良認定処理業者への処理委託 量	0	⑪優良認定処理業者への処理委 託量	0
再生利用業者への処理委託量	0	⑫再生利用業者への処理委託量	0
熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬熱回収認定業者への処理委託 量	0
熱回収認定業者以外の熱回収を行 う業者への処理委託量	0	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 28 日	
広島県知事 様	
提出者	
住所	広島県大竹市御幸町 20 番 1 号
氏名	三菱ケミカル株式会社広島事業所 事業所長 清水 和博
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	(0827) 52-4217
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三菱ケミカル株式会社広島事業所（テクノUMG大竹事業所含む）
事業場の所在地	広島県大竹市御幸町 20 番 1 号
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1のとおり	
①事業の種類	16：化学工業
②事業の規模	製品出荷額 952億円
③従業員数	1,840人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	燃え殻：中間処理業者に委託してセメント原料として再資源化等 汚泥：自ら熱回収を行いながら中間処理 廃油：自ら直接再生利用または自ら熱回収を行いながら中間処理等 廃酸：中間処理業者に委託して中間処理 廃アルカリ：中間処理業者に委託して中間処理 廃プラスチック類：自ら直接再生利用または自ら熱回収を行いながら中間処理 金属くず：再生利用業者に委託して再資源化等 ガラスくず：再生利用業者に委託して再資源化等 ばいじん：中間処理業者に委託してセメント原料として再資源化等 紙くず：自ら熱回収を行いながら中間処理 木屑：自ら熱回収を行いながら中間処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙1のとおり

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・製品歩留まりの向上 ・事業所内で再利用可能なものは再利用を実施 ・製品の開発に当たっては、廃棄物の処理を考慮		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・これまでに実施の取組事項を継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・製造工程以外から発生の産業廃棄物についても、可能な限り、部材（種類）毎の分別の徹底を図り、最終処分（埋立）量等を抑制
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・更なる分別の徹底を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙 1 のとおり

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 廃油、廃プラ類の一部を、事業所内で燃料、原料として利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ これまでに実施の取組事項を継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙 1 のとおり

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・ 事業所内焼却炉で処分可能な廃棄物は、熱回収を行いながら中間処理（焼却）を実施		
②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・ 外部へ処理委託の産業廃棄物の性状等を精査し、事業所内焼却炉での処分量の増加を図る		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		該当なし	
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
		別紙1のとおり	
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
燃え殻：中間処理業者に委託してセメント原料として再資源化等 廃酸：中間処理業者に委託して中間処理 廃アルカリ：中間処理業者に委託して中間処理 金属くず：再生利用業者に委託して再資源化等 ガラスくず：再生利用業者に委託して再資源化等 ばいじん：中間処理業者に委託してセメント原料として再資源化等			

		【目標】 別紙1のとおり		
②計画		産業廃棄物の種類		
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
		再生利用業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
		(今後実施する予定の取組)		
		・ これまでに実施の取組事項を継続しつつ、処理の内部処理化、埋立→再資源化等の取組を強化		
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

現状：前年度（令和5年度）実績量

計画：今年度（令和6年度）計画量

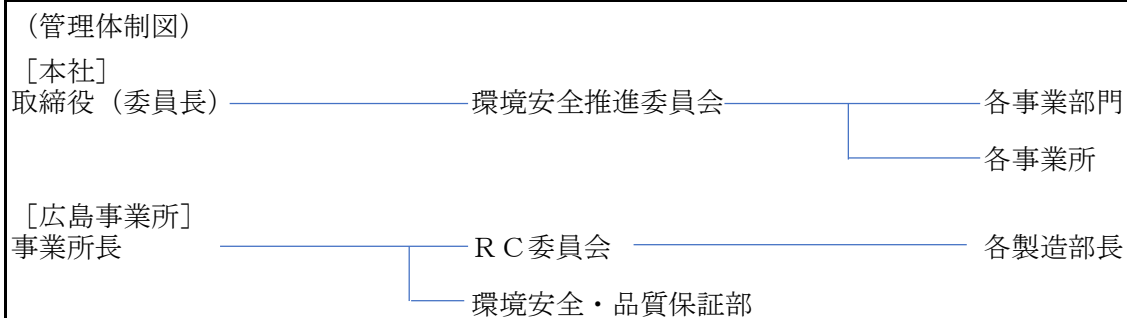
単位:トン／年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
燃え殻	5311	5311	0	0	0	0	0	0	0	0	5311	5311	0	0	5305	5305	0	0	0	0
汚泥	7046	7046	0	0	6236	6236	6236	6236	0	0	810	810	0	0	7	7	0	0	0	0
廃油	1341	1341	0	0	528	528	528	528	0	0	813	813	0	0	378	378	0	0	0	0
廃酸	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	296	296	0	0	0	0	0	0	0	0	296	296	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	1518	1518	0	0	1082	1082	1082	1082	0	0	436	436	0	0	0	0	0	0	0	0
紙くず	372	372	0	0	372	372	372	372	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	180	180	0	0	0	0	0	0	0	0	180	180	0	0	0	0	0	0	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	72	72	0	0	0	0	0	0	0	0	72	72	0	0	0	0	0	0	0	0
鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	0	0	14	14	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	24841	24841	0	0	0	0	0	0	0	0	24841	24841	0	0	24841	24841	0	0	0	0
合計	41029	41029	0	0	8218	8218	8218	8218	0	0	32811	32811	0	0	30545	30545	0	0	0	0

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 2 8 日	
広島県知事 殿	
提出者	
住所	広島県大竹市御幸町 2 0 番 1 号
氏名	三菱ケミカル株式会社広島事業所 事業所長 清水 和博
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号	(0 8 2 7) 5 2 - 4 2 1 7
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三菱ケミカル(株)広島事業所（テクノUMG(株)大竹事業所分を含む）
事業場の所在地	広島県大竹市御幸町 2 0 番 1 号
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙5のとおり	
①事業の種類	1 6 : 化学工業
②事業の規模	製品出荷額 9 5 2 億円
③従業員数	1 , 8 4 0 人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥（特定有害）：中間処理業者に委託して中間処理 可燃性廃油：自ら熱回収を行いながら中間処理または中間処理業者に委託して中間（焼却）処理等 廃酸：中間処理業者に委託して中間処理 廃アルカリ：中間処理業者に委託して中間処理

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙5のとおり

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・製品歩留まりの向上 ・製品の開発に当たっては、廃棄物の処理を考慮		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・これまでに実施の取組事項を継続		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

該当なし

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙5のとおり

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・可燃性廃油の一部を、事業所内で燃料として利用		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・これまでに実施の取組事項を継続		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙5のとおり

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・事業所内焼却炉で処分可能な廃棄物は、熱回収を行いながら中間処理（焼却）を実施		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・外部へ処理委託の産業廃棄物の性状等を精査し、事業所内焼却炉での処分量の増加を図る		

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

該当なし

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行う 特別管理産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】 別紙5のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	可燃性廃油：中間処理業者に委託して中間（焼却）処理等		

②計画	【目標】 別紙5のとおり		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・これまでに実施の取組事項を継続しつつ、処理の内部処理化の取組を強化		
電子情報処理組織の 使用に関する事項	【前年度（令和5年（2023）年度） 別紙5のとおり		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)		t
	(今後実施する予定の取組) ・平成31年度より特別管理産業廃棄物を含めた産業廃棄物の全数について電子マニフェストを使用		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物(令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。)を除く。)を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

